

平成 27 年度 事業計画書

学校法人 湘南ふれあい学園

学校法人湘南ふれあい学園 平成 27 年度 事業計画

I 事業計画の概要

本法人は、平成 6 年に医療法人社団康心会理事長大屋敷英志枝氏によって設立されて以来、

「人を尊び、命を尊び、個を敬愛す」を基盤とする人間の尊厳と他者への思いやりを建学の精に据えて、医療従事者の養成をはじめとする実践教育活動の充実に努めてきました。本学園創立 22 年目である平成 27 年度は、ふれあいグループからの支援を受けて本学園が平成 23 年度から計画をして設立認可された湘南医療大学の開学により、1 医療大学、2 看護専門学校、1 リハビリテーション専門学校、1 医療系ビジネス専門学校、1 幼稚園を有する私学医療系教育校として更なる発展の第一歩となる年度となります。

人口減少期に入り、高等教育機関を取り巻く環境は一段と厳しさを増しております。一方、超高齢社会の到来による、看護等医療人材の需要の高まり、また、地域に貢献できる医療人材の養成、また、地域を基盤にしたグローバル人材の育成など、「教育事業」が社会から寄せられる期待は、ますます大きくなってきていると実感しています。

学校法人がその要請に応えるべく、これまで以上に理事会を強く活力のあるものにするために執行権限と責任を持たせて、リーダーシップを発揮しなければなりません。そのために、学園のガバナンスを有効に機能させて、学園の建学の精神、そして、設置する各学校の教育目標などの教育理念に基づき、教育研究を実現させるための経営方策を策定し、経営基盤の安定と強化を図ります。

また、学園の使命でもある、ふれあいグループの発展に必要な地域社会・医療に貢献できる有為な人材の育成を達成させるためにも、経営方策の重要事項である教職員等の人的事項、施設設備等の物的事項、財務運営等の財政的事項、組織運営等の運営的事項等を踏まえて、現状分析をしっかりと行い、湘南ふれあい学園の中長期的経営計画を本年度中に策定します。

II 主要な事業計画

1. 重点計画

設置各学校(園)においては、教育面等、各学校の重点目標に基づき各事業(設置学校の事業計画参照)を実施する。特に以下の項目については重点項目とする。

- ① 本法人は、平成 27 年度に開学する湘南医療大学保健医療学部看護学科及びリハビリテーション学科(理学療法学専攻・作業療法学専攻)に加えて、看護専門学校 2 校(茅ヶ崎市、下田市)及びリハビリテーションの専門学校がそれぞれの特色を発揮して入学定員の確保できるように学生動向の分析を進めて、低学年から本学園各校を意識させる学生募集、広報計画を策定し、推進する。

- ② 適正な学科構成及び入学定員に変更した医療ビジネス観光情報専門学校(医療ビジネス学科入学定員 20 名、観光学科 40 名、情報システム学科 40 名 計 100 名)の広報力を強化する。
- ③ 湘南医療大学の開学により、改正並びに新規に作成した学園諸規程の運用を開始する。
- ④ みどり幼稚園の認定こども園への移行の準備を本格化させる。
- ⑤ 湘南医療大学地域連携推進室、研究推進室及び臨床医学研究センターにおいて、大学、専門学校及びグループ病院施設と教育研究のための連携を充実させる。まず、各グループ病院の医療従事者に希望する研究内容のアンケート調査を実施し、大学と共同研究できる内容を検討する。

その他、湘南ふれあい学園が設置する大学及び各学校(園)は、文科省大学設置基準及び医学教育指定基準、また医療系専門学校では、厚生労働省看護師養成所、理学療法士作業療法士養成施設並びに言語聴覚士養成所指定規則及び指導要領に基づき、これに即した教育課程を実施する。そして、今年度も引き続き、ふれあいグループの医療資源を有用し、学校と病院等各施設が連携を深めた活動を推進し、また、就職支援も充実させる。

湘南ふれあい学園のスケールメリットを活かした各学校間連携事業は、隔月に開催する教育部会並びに大学部会研修会及び年 2 回の医療研究会及び専門部会研究会を中心に、全学的な課題(休学者・退学者の減少、国家試験等資格試験に合格できる教育、落伍者を出さない心配りができる行き届いた少人数制個別的学习支援等)を解決するための研究や研修を行い、その成果を発表する機会を有意義に活用して連携を強化する。

また、研究や研修会は、教職員のみならず、学生を含めて参加可能な実践的な研究活動を推進する計画を策定する。

2. 人事計画

(1) 組織

法人全体の取り組みとして、自己規律や倫理基準に従って学校の教職員という専門職の集団における問題点・課題点を早期に発見して解決できる体制づくりを整える。

特に湘南医療大学においては、大学新設にともない、運営管理会議、教授会等の会議を充実させて、理事会並びに評議員会と連携しつつ、経営組織と教学組織が連動して学生支援及び教育の質の向上などの重要な課題を円滑に対処するために組織を強化する。

(2) 職員配置

学校法人としての事業活動を適切にかつ効率的・効果的に遂行するため、教職員組織の役割機能と責務を明確にし、平成 27 年度は以下の体制による人員配置を予定している。

法人名	学校名	職 種		
		専任職員		
		教育職員	事務職員	計
湘南ふれあい学園	湘南医療大学	27	8	35
	茅ヶ崎看護専門学校	18	5	23
	茅ヶ崎リハビリテーション専門学校	21	10	31
	下田看護専門学校	13	5	18
	医療ビジネス情報観光専門学校	10	4	14
	みどり幼稚園	12	1	13
	学園本部事務局	1	8	9
	計	102	41	143

(3) 教職員の人材育成

教育職員においては、学園全体の行動指針を策定し、教職員個々の資質向上、教員としての見識向上、道徳観の醸成、人材育成を強く推進する。また、学生（園児）の質の向上にむけた教育指導FD（ファカルティ・ディベロップメント）を徹底する。

学校事務職員に与えられた役割は、これまでは極めて限定的なものであったが、少子化を迎えた現在、学校の経営環境が大きく変化し、専門的知識を生かした大学経営陣をサポートする職員の必要性が高まっている。その要請に応えるために事務処理業務や教員の補助的支援業務を中心とした機能のみならず、各部署と連携して学園各校の運営に積極的に参画し、学園運営の専門職として更に機能を充実させるための取り組みを行う。そのためには、専門知識を持ち、問題解決案を提案できる職員の養成が急務であると考えているので、SD（スタッフ・ディベロップメント）活動を活発化させた研修を強化して個々の職員の資質向上・能力開発に努める。

3. 募集・広報計画

18歳人口の減少及び大学全入時代に入り、昨年度の学生募集は各専門学校及び幼稚園とも学生募集が大変厳しい状況であった。また、湘南医療大学においても開学年度を理由に、学生募集の時期が認可後からとなり、こちらも学生確保に苦慮した面もあったが、各学校（園）とも予定した学生数を確保することができた。

平成27年度は、湘南医療大学が開学し、医療系専門学校と対象となる学生が重複することが予測され、ますます厳しい学生募集になることが予測されます。本学園では、ふれあいグループ全体並びに学園各学校（園）の知名度の高さを生かして、積極的に広報活動を展開し、各学校の特色を生かした差別化を図ることが早急に必要であると考えています。

本年度は、大学を含めて各校の募集方法を再検討し、AO入試から一般入試制度を見直して、

高校新卒者のみならず、既卒社会人の受験生獲得の方策を再考します。また、低年齢層からの募集・広報活動を強化し、早期から「職業意欲」を高めることができる体験イベント等をふれあいグループ病院施設と連携を図って開催することを検討する。併せて、各学校とも、学科構成や修業年限の見直しなどを積極的に検討し、次代の求める学生募集活動を行っていききたい。

そして、湘南ふれあい学園の理念を實踐できる医療系人材養成大学及び専門学校として、ブランド価値を高める募集・広報活動を行う。

(1) 入学者数の確保

教育内容の改善、キャリア支援の充実等を基本に、その特色を、学校訪問やオープンキャンパス・説明会等において積極的にアピールする。また、各学校の特性を活かした地域との連携協力、高大連携等を通して、目標に掲げている受験者・合格者・入学者の確保を図る。

(2) 中途退学者の低減

学力能力別教育による親身で細心の学習指導、補習支援、学習並びに生活相談、保護者との連携等により、中途退学者の低減に努める。また、身体的・精神的病気を理由とする退学者・休学者の発生をできるだけ防止するため、健康管理・生活指導の充実を図るとともに、予防活動を推進する。

(3) 実行力のある広報活動

各校へ関心を持って来校するオープンキャンパス・説明会・体験入学等への参加者に対し、各校の特色を、より身近に感じて、分かりやすく丁寧に説明するための工夫を常に考える。このため、模擬授業や実際の演習等も行い、来校者により将来像が伝わる内容を増幅させる。次に、これまでの入学実績を丁寧に分析したうえで、学校訪問計画を策定し、各校が求める学生を募集する活動を展開する。また、入学した学生の学力向上度、学校生活等の様子も訪問時の話題に入れて進路指導教員との信頼関係を深める。学校ガイダンスや会場ガイダンスにも参加し、直接学校の魅力を伝える場を増やし、より多くの受験生を体験入学等学校説明会に参加してもらえるように努力する。一方、WEB広告、学園のホームページの充実を図り、学園の理念、将来展望を明確にして、伝えることが出来る広報活動に取り組む。

受験生が望むタイムリーな情報の掲載や、交通機関を活用した広告など、その対象と時機を見据えた入試広報を実施する。また、学生や園児の活動状況を紹介するなど、学園のブランド力を更に高める広報を多面的な展開、最新かつ的確な情報を伝えられるように地域と連携してその成果や取り組みを積極的に広報する。

4. 財政計画

(1) 資金収支予算の概要

平成 27 年度の資金収支予算は、資金収入（学生生徒納付金、手数料収入、寄附金収入、補助金収入等）の合計が、前年度繰越支払資金約 2,550 百万円を含み約 4,966 百万円となり、資金支出（人件費、教育研究経費、管理経費、施設設備費等）の合計が約 2,182 百万円で、この結果、差し引き約 2,784 百万円が次年度繰越支払資金となります。

(2) 事業活動収支計算書の概要

平成 27 年度の事業活動収支予算は、事業活動収入（学生生徒納付金、手数料、寄附金、補助金等法人に教育活動のみに係る収入）は、約 1,993 百万円となり、事業活動支出は、人件費、教育研究経費、管理経費等で、約 1,845 百万円の予算を編成した。その他、教育外活動支出では、借入金利息支払い 44 百万円の支出を計上した。

それにより、基本金組入前当年度収支差額は約 91 百万円の収入超過を見込んでいます。

尚、基本金組入額（施設設備等の積み立て等に充当）は、約 450 百万円となります。

平成27年度資金収支予算書

平成27年 4月 1日から

平成28年 3月31日まで

(単位:千円)

収入の部		支出の部	
科 目	予 算	科 目	予 算
学生生徒等納付金収入	1,532,530	人件費支出	1,037,075
手数料収入	61,830	教育研究経費支出	307,095
寄付金収入	184,380	管理経費支出	218,993
補助金収入	121,790	借入金等利息支出	44,000
資産売却収入	0	借入金等返済支出	104,200
付随事業・収益事業収入	64,537	施設関係支出	50,080
受取利息・配当金収入	1,110	設備関係支出	145,088
雑収入	27,650	資産運用支出	0
借入金等収入	0	その他の支出	347,100
前受金収入	986,448	予備費	15,000
その他の収入	290,172	資金支出調整勘定	△86,140
資金収入調整勘定	△854,171	翌年度繰越支払資金	2,783,785
前年度繰越支払資金	2,550,000		
収入の部合計	4,966,276	支出の部合計	4,966,276

事業活動収支予算書

平成27年 4月 1日から

平成28年 3月31日まで

(単位:千円)

		科 目	予 算
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	1,532,530
		手数料	61,830
		寄付金	184,476
		経常費補助金等	121,790
		付随事業収入	64,537
		雑収入	27,650
		教育活動収入計	1,992,813
	事業活動支出の部	人件費	1,048,075
		教育研究経費	549,535
		管理経費	247,828
徴収不能額等		0	
教育活動支出計		1,845,438	
	教育活動収支差額	147,375	
教育活動外収支	事業活動収入の部	受取利息・配当金	1,110
		その他の教育活動外収入	2,000
		教育活動外収入計	3,110
	事業活動支出の部	借入金等利息	44,000
		その他の教育活動外支出	0
	教育活動外支出計	44,000	
	教育活動外収支差額	△40,890	
	経常費差額	106,485	
特別収支	事業活動収入の部	資産売却差額	0
		その他の特別収入	0
		特別収入計	0
	事業活動支出の部	資産処分差額	0
		その他の特別支出	0
		特別支出計	0
	特別収支差額	0	
[予備費]		15,000	
基本金組入前当年度収支差額		91,485	
基本金組入額合計		△449,618	
当年度収支差額		△358,133	
前年度繰越収支差額			
基本金取崩額		0	
翌年度繰越収支差額		△358,133	
(参考)			
事業活動収入計		1,995,923	
事業活動支出計		1,904,438	

5. 施設・設備計画

主な施設・設備計画については下記のとおりである。

年度	事項	事業規模	実施時期
平成 26-28 年度	湘南医療大学 教育備品購入	教具 416 点	平成 27 年 9 月納入予定
	平成 26-28 年度の第 2 次購入分	校具・備品 906 点	
平成 26-28 年度	湘南医療大学 図書購入	図書 2,524 冊	平成 27 年 9 月納入予定
	平成 26-28 年度の第 2 次購入分	学術雑誌 119 誌	
		データベース 5 セット	

※その他、各学校の修繕計画、教育備品の購入計画等に基づき、配備する。

6. 生涯学習事業及び受託事業計画

神奈川県内の医療福祉関係従事者並びに希望者を対象に喀痰吸引等研修、介護職員初任者研修、医療事務通信講座及びケアマネ試験受験対策講座を実施する。また、本年度より、看護師実習指導者講習会及び社会福祉士実習指導者講習会を新規に行う予定である。(別添資料 1)

また、医療ビジネス観光情報専門学校では、前年度に引き続き、神奈川職業訓練支援センターの委託認定講座を可能な限り受託し、生涯教育活動を推進する。

7. 監査計画

平成 27 年度監査計画に基づき、会計監査、監事監査及び内部監査を実施するとともに、監事、会計監査人との連携を強化する。(別添資料 2)

8. 入学定員・収容定員

平成 27 年度の入学定員及び収容定員は下記のとおりである。

学校名	学科	入学定員(人)	収容定員(人)
湘南医療大学	看護学科	80 (編入 10)	340
	リハビリテーション学科	80	320
	理学療法学専攻	(40)	(160)
	作業療法学専攻	(40)	(160)
茅ヶ崎看護専門学校	看護学科	80	240
茅ヶ崎リハビリテーション専門学校	理学療法学科	80	320
	作業療法学科	20	80
	言語聴覚学科	35	70
	社会福祉専攻科	80	160
下田看護専門学校	看護学科	40	120
医療ビジネス観光情報専門学校	医療ビジネス学科	20	40
	観光学科	40	80
	情報システム学科	40	80
みどり幼稚園	年少		200
	年中		
	年長		
合 計		595 (編入 10)	2050

平成27年度湘南ふれあい学園 ふれあい医療福祉研修センター 事業計画

(別添資料1)

事業名 (主体)	喀痰吸引等研修	介護職員初任者研修 (通信併用)	医療事務通信講座 (初級：通信、中級：通学)	ケアマネ試験対策講座	社会福祉専攻科 (通信)	社会福祉士実習指導者講習会	看護師実習指導者養成講習会	介護福祉士実務者研修
	茅ヶ崎リハビリテーション専門学校→研修センター	研修センター	横浜校附帯事業→本部→研修センター	研修センター	茅ヶ崎リハビリテーション専門学校附帯事業	研修センター	研修センター	研修センター
開始時期	H25年～	H27年～		H26年度～	H10年～	届出準備中	申請中	申請中
申請先	神奈川県	神奈川県	—	—	神奈川県	関東信越厚生局	厚生労働省	神奈川県
期 日	H27.7月～9月	【第1回】H27.5.18～7.10 【第2回】H27.7.27～9.18 【第3回】H27.10.26～12.21 【第4回】H28.2.1～3.30	【初級】H27.6月～12月 【中級】H27.11月～H28.2月	H27.8月～9月	毎年4月～翌年12月末	H28.1～2月	H27.9～12月	H28.3月～8月
期 間	講義7日(50時間)、演習1日、実習1日	講義17日、実習2日	【初級】6ヶ月間 【中級】講義12日間	講義6日間	1年9ヶ月間	講義2日間	250時間	6ヶ月間
場 所	【講義】茅ヶ崎リハビリテーション専門学校 【演習】茅ヶ崎看護専門学校 【実習】新北陵病院ほか	【講義】茅ヶ崎リハビリテーション専門学校 【実習】湘南シルバーガーデンほか	【初級】通信講座の為なし 【中級】茅ヶ崎リハビリテーション専門学校	茅ヶ崎リハビリテーション専門学校	※スクーリング：茅ヶ崎リハビリテーション専門学校	茅ヶ崎リハビリテーション専門学校	湘南医療大学	座学：茅ヶ崎リハビリテーション専門学校 医療的ケア：茅ヶ崎看護専門学校
受講料	100,000円 (テキスト代別)	60,000円 (テキスト代込)	【初級】39,000円 (テキスト代込) 【中級】37,500円 (テキスト代別)	8,000円 (テキスト代別)	350,000円 (テキスト代別)	10,000円 (テキスト代別)	80,000円 (テキスト代別)	①無資格者120,000円 ②ホームヘルパー2級/介護職員初任者研修修了者100,000円 ③介護職員基礎研修修了者25,000円
定 員	30名	各20名	【初級】25名 【中級】20名	20名	80名	20名	40名	30名
取得資格	喀痰吸引等研修修了	介護職員初任者研修	ふれあい医療事務管理士(初級・中級)	—	社会福祉士国家試験受験資格	社会福祉士実習指導者講習修了	看護師実習指導者養成講習会修了	介護福祉士国家試験受験資格

H27 年度 湘南ふれあい学園 監事監査の方針・計画

1 監査の対象

業務監査：湘南医療大学、茅ヶ崎リハビリテーション専門学校

会計監査：公認会計士と連携

2 監査の方法

- ・理事会・評議員会等の主要な会議への出席。
- ・湘南医療大学及び茅ヶ崎リハビリテーション専門学校の業務内容を主として、学部長（副校長）、学科長（学科主任）、事務部長（事務責任者）等と監事が面談によるヒアリング形式で実施（内部監査班が補佐同行）。
- ・公認会計士と監事が面談による会計監査を実施（内部監査班が補佐同行）。

3 監査重点項目

- ・業務監査(ヒアリング内容)

湘南医療大学	茅ヶ崎リハビリテーション専門学校
(1) 学部学科について <ul style="list-style-type: none"> ・教授会、学科会議等の運営方法 ・学科間連携方法 ・規程の遵守、議事録等の書類の管理状況 ・教育研究支援の実施状況 	(1) 学校概要の説明 <ul style="list-style-type: none"> ・規程に基づく会議運営状況 ・規程に基づく学生指導状況 ・施設状況
(2) 学部学科別の地域別、志願者、合格者及び入学状況について <ul style="list-style-type: none"> ・学生募集対策 ・入試状況 	(2) 入試（平成 27 年度募集）について <ul style="list-style-type: none"> ・学生募集対策 ・出願状況
(3) 授業/生活支援について <ul style="list-style-type: none"> ・成績不振者への学習支援や履修指導の状況（休退学者防止策） ・教育課程の点検 ・オフィスアワーの活用状況 ・学習環境の状況 	(3) 国家試験について <ul style="list-style-type: none"> ・国家試験対策 ・成績不振者への指導状況
(4) 研修制度（FD/SD 全体研修会、学外研修）の実施状況	

・会計監査（ヒアリング内容）

学校法人
<ul style="list-style-type: none"> ・ 経理担当者による月次会計監査の状況報告 ・ 会計士による各校実査報告 ・ 資金収支計算書、資金収支内訳表、人件費支出内訳表、活動区分資金収支計算書、事業活動収支計算書、事業活動収支内訳表、貸借対照表、固定資産明細表、借入金明細表、基本金明細表 等の書類を閲覧しながら、公認会計士から平成 27 年度の予算執行状況等の確認を実施する。

4 監査の実施時期

定期監査（業務監査）	<p>内部監査終了後平成 27 年 9~12 月</p> <p>内部監査（平成 27 年 8 月予定）は、内部監査班（監査責任者：学園本部次長、監査担当者：学園本部職員 1 名、各学校 1 名）が行う。</p>
（会計監査）	<p>平成 28 年 4~5 月</p> <p>公認会計士、内部監査班（監査責任者：学園本部次長、監査担当者：学園本部職員 1 名）と連携して行う。</p>

5 監査報告書の作成

監査報告書（業務監査）	平成 28 年 1 月
（会計監査）	平成 28 年 5 月